

平成23年6月16日

会員各位

美しい多摩川フォーラム事務局

平成23年度 第1回 地域経済活性化部会

◆ 6月16日(木)、美しい多摩川フォーラムの平成23年 第1回 地域経済活性化部会が開催されました。概要は下記のとおりです。

- ・開催日時：平成23年6月16日(木) 15時～16時半
- ・開催場所：立川グランドホテル 3F サンマルコ
- ・出席者：会長(部会長)、運営委員、アドバイザー、会員等

◎ 地域経済活性化部会の概要

1. 開会

2. 部会長挨拶

3. 経過報告 ※はビデオ放映

- (1) 美しい多摩川100年プランの進捗状況【資料1】
- (2) 平成23年度事業計画・同予算【資料2】
- (3) 多摩川夢の桜街道・桜の札所巡り(4/8、4/15、4/16)【資料3】※
- (4) 平成23年度総会開催(5/21)※
- (5) 「美しい多摩川フォーラムの森(青梅)」の開設イベント(5/28)【資料4】※
- (6) 第39回調布市環境フェア出展(6/4)【資料5】
- (7) 第4回多摩川一斉水質調査実施(6/5)【資料6】
- (8) 東急百貨店「ココエコチャリティー」実施(6/2～29)【資料7】
- (9) 総合教育文化モデル事業開催(6/9、13、16)【資料8】
- (10) 多摩川っ子(第4号)発刊(7月上旬)【資料9】
- (11) 狛江古代カップ第21回多摩川いかだレース参加(7/17)【資料10】
- (12) 第4回カヤック体験教室開催(7/23)【資料11】
- (13) 多摩川1万人の清掃大会参加(8/7)
- (14) 第3回炭焼き体験と水辺の交流会開催(8/22)【資料12】

4. 意見交換

- (1) 平成23年度事業計画の見直し等について

①食と地域の交流促進対策交付金の交流促進計画承認申請【資料13】

- ②東日本大震災復興支援事業～「東北・夢の桜街道プラン」【資料 14】
 - ③「多摩川夢の桜街道」計画の見直し（計画の浸透策を含む）
- (2)「多摩川の歌」の普及について
- (3) その他
- ①「多摩川カヌー川下り」の開催について【資料 15】
 - ②「多摩川レガッタ」実現に向けた情報提供について【資料 16】

5. 部会長総括・閉会

1. 開会（初参加者紹介および資料確認）

（事務局）

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成23年度第1回地域経済活性化部会を始めさせていただきます。本日はじめて部会にご出席される方をご紹介します。

（大田区 都市基盤整備部 都市基盤管理課 計画調整担当 主査 山田 誉 様）

山田と申します。今後ともよろしく願いいたします。

（永野 誠一 様）

はじめまして、永野でございます。私は、立川に生まれ育ち、68年経ちますが、立川のことをほとんど分かっていません。先月の総会に出席させていただきましたが、参加人数の多さと立派さにびっくりしました。このたび定年退職いたしましたので、馳せ参じました。今後ともよろしく願いいたします。

（事務局）

有り難うございました。本日は行政の方も出席の予定でしたが、急遽都合により欠席となりましたので、お名前だけご紹介させていただきます。

- ・昭島市 企画部 企画政策室長 佐藤 一夫 様（議会の対応でご欠席）
- ・青梅市 建設部 計画調整担当 主幹 古屋 政治 様（議会の対応でご欠席）
- ・社団法人 大多摩観光連盟 事務局次長 北田 まさし 様（葬儀対応でご欠席）

2. 部会長挨拶

（細野部会長）

ご多用のところ本日もお集まりいただき、有り難うございます。平成23年度に入ってから第1回目ですし、3・11（東日本大震災）からも初めての地域経済活性化部会でございます。美しい多摩川フォーラムを通して、新しい地域活性化のモデルを

全国に広めようという使命感を持ってやっておりますが、被災地を元気にするために、この運動がどのように役立つかということも、後ほど、事務局からご紹介があると思いますので、色々なアイデアをいただきたいと思います。

それでは、事務局より経過報告をお願いします。

3. 経過報告（事務局）

はい、今年度の当フォーラムの活動につきましては、お手元の資料にて時系列でお示しております。それでは、はじめに（3）番、（4）番、（5）番をビデオにまとめておりますので、後方のスクリーンをご覧ください。

（3）多摩川夢の桜街道・桜の札所巡り（4/8、4/15、4/16）

（4）平成23年度総会開催（5/21）

（5）「美しい多摩川フォーラムの森（青梅）」の開設イベント（5/28）

— ビデオ放映 —

経過報告はいかがでしたでしょうか。ここで一点報告がございます。総会のビデオの中で、「会員が1,000名に達する勢い」とありましたが、5月31日をもって、1,000会員を達成しています。また、桜の札所事業で、リビング多摩さんとの共催事業がございましたが、本日はリビング多摩編集長の石河様にご出席をいただいておりますので、一言お願いいたします。

（石河様）

今回は、大震災の1ヵ月後ということで、開催しようかかなり迷いましたが、下見に行ったら、現地は大丈夫そうだということと、こういう時だからこそ、花を見て気持ちを安らかにすることも必要ではないかと思い、フォーラムのご協力もいただき、開催することができました。高尾はまだあまり花が咲いていませんでしたが、行くことができたことに対して大変喜んでいただき、この事業の意義を感じることもできました。有り難うございました。

（5）「美しい多摩川フォーラムの森（青梅）」の開設イベント（5/28）【資料4】※

先月の開設イベントに参加されたフォーラムの森・実行委員会の委員長を務められた小澤運営委員に、一言お願いします。

（小澤運営委員）

私もビデオに少し映っておりましたが、植えている皆さんの表情がとても素晴らしかったと思います。恐らく植樹をされた方々は、自分の植えた木がすくすく

と育っていく将来を想像し、生き生きとされていたのだと思います。山が良くなると同時に、皆さんの心の中の緑も増えていくようにお祈りしております。有り難うございました。

(6) 第39回調布市環境フェア出展 (6/4)【資料5】

(事務局)

- ・ 【資料5】をご覧ください。美しい多摩川フォーラムでは、6月4日に開催された第39回調布市環境フェアに出展し、多摩川一斉水質調査や美しい多摩川クリーンキャンペーンなど、環境への取り組みを、調布市の皆さんに大いにPRしました。

(7) 第4回多摩川一斉水質調査実施 (6/5)【資料6】

(事務局)

- ・ 【資料6】をご覧ください。フォーラムが直接担当した調査地点の結果を速報としてお届けするものです。今回は、新たに最下流の0キロポストまで調査地点を広げ、下流中心に前回比10ヵ所増やした結果、多摩川全流域で74地点となりました。詳細な調査結果レポートは、例年どおり11月に発刊する予定です。

(8) 東急百貨店「ココエコチャリティー」実施 (6/2~29)【資料7】

(事務局)

- ・ 【資料7】をご覧ください。ご覧のとおり、東急百貨店ホームページのトップページに紹介されており、今年は6月2日(木)~29日(水)まで、東急百貨店(渋谷本店など8店舗)において、ココからはじめる身近なエコ「ココエコ・チャリティー」イベントが開催され、東急百貨店オリジナル「渋谷のしっぽ」携帯ストラップ(渋谷名物のハチ公をモチーフにしたもの)が販売されています。色は、黒とピンクの二種類で、価格は200円です。本日、サンプルをお持ちしましたので、どうぞご覧くださいませ。
- ・ これは、昨年につき、東急百貨店のCSRの一環として企画されたもので、環境活動に積極的に取り組んでいる団体として「美しい多摩川フォーラム」に携帯ストラップの売上金の一部を寄付し、多摩川流域周辺の環境保全活動に貢献しようというものです。美しい多摩川フォーラムでは、いただいた寄付金を、「多摩川一斉水質調査」などの多摩川環境保全活動に役立てていきます。なお、携帯ストラップは期間限定販売ですので、お買い求めはお早めに！

(9) 総合教育文化モデル事業開催 (6/9、13、16)【資料8】

(事務局)

- ・ 【資料 8】 をご覧ください。昨年 6 月に、あきる野市立増戸中学校への環境講座をフォーラム事務局が講師として担当したことがきっかけとなり、今年度は、総合教育文化モデル事業として 6 月に 5 時限を予定している講座の内、3 講座をフォーラムで担当しました。6 月 9 日には、フォーラム事務局が多摩川に関するクイズを始め、地理や歴史、環境への取り組みについて、映像を使って説明しました。13 日には、山崎・教育文化部会副部会長に、多摩川に生息している魚や、多摩川の環境についてお話をいただきました。そして、16 日(今日)この時間には、フォーラムの会員で連携パートナーでもあります、秋川漁業協同組合の宮崎様に秋川で実施している魚を育てる環境づくり・川づくりについてお話いただいております。

ここまでで何かご質問、ご感想があれば、挙手をお願いします。

ここからは、当面の予定につきまして、お時間の関係で資料添付のみとさせていただきますが、一点、(14) 第 3 回炭焼き体験と水辺の交流会に、ダニエル・カール副会長が、ボランティアで参加されることになりましたので、ご報告いたします。

(10) 多摩川っ子 (第 4 号) 発刊 (7 月上旬) 【資料 9】

(11) 狛江古代カップ第 21 回多摩川いかだレース参加 (7/17) 【資料 10】

(12) 第 4 回カヤック体験教室開催 (7/23) 【資料 11】

(13) 多摩川 1 万人の清掃大会参加 (8/7)

(14) 第 3 回炭焼き体験と水辺の交流会を開催 (8/22) 【資料 12】

(細野部会長)

事務局からの経過報告で一番驚いたのは、会員が 1,000 名を超えたということです。この短期間で良くここまで、と思います。皆様のご協力や、事務局の下支えがあつてのことだと思います。改めてお礼を申し上げます。

他にご質問などございますか。ないようですので、意見交換に進めます。

4. 意見交換 (部会長)

(細野会長)

はじめに事務局の方から説明してください。

(1) 平成 23 年度事業計画の見直し等について

- ①食と地域の交流促進対策交付金の交流促進計画承認申請 【資料 13】

(事務局)

- ・ 【資料13】をご覧ください。3月上旬には、平野副会長より農林水産省の「平成23年度・食と地域の交流促進対策交付金」募集に関する情報が寄せられました。急遽の案件のため、細野会長、平野副会長と相談し、3月10日に応募し、5月9日に採択通知を受け、具体的な事業計画書を今月8日に提出したところです。順調に進めば、7月末までに、交付決定が見込まれます。具体的には、東京都奥多摩の「自然」「食」「文化」を活かした多摩川上・中・下流域間の観光交流を目指したもので、観光と連携した都市農山村の交流推進（グリーン・ツーリズム）を実現していこうという事業です。事業の実施体制は、美しい多摩川フォーラムが運営責任者となっていますが、事務局のマンパワーに限界があるので、フォーラムの会員でもあります、財団法人都市農山漁村交流活性化機構（通称：まちむら交流機構）と連携して事業を展開していく予定です。
- ・ 「食」「自然」「文化」とありますが、「食」では、奥多摩郷土弁当、モダン・スイーツの企画・開発、「文化」では、平野副会長にサポートいただき、地域文化資源の掘起し・実演をしていく予定です。2年間の総事業費は、平成23年度が200万円程度、平成24年度が250万円程度を見込んでいます。
- ・ なお、8月以降、事業実施のため、実行委員会を立ち上げ、小澤運営委員様には、実行委員長をお願いしたいと存じます。

(細野会長)

それでは皆さん、ご質問やご意見がございましたら、お願いします。ないようでしたら、次に進めます。事務局の方から説明してください。

②東日本大震災復興支援事業～「東北・夢の桜街道プラン」【資料14】

(事務局)

- ・ 【資料14】をご覧ください。3月11日に東日本大震災が発生し、東北は大変な事態に陥っていますが、私ども美しい多摩川フォーラムも、地域づくりの団体として、何らかの支援ができないかと、内外から意見が寄せられています。例えば、チャリティーも考えられますが、単にお金を集めて寄付をするというだけでは、本来の趣旨にかなっていないのではないかと思います。そもそも我々が推進している地域づくりの基本フレームは、東北においても何らか役に立つのではないかと、なんとか復興支援のために働きかけたいと思い、先般開催されたフォーラムの総会で簡単にお話をしたところ、好評だったことから、7月に開催予定の臨時運営委員会でこのプランの概要および予算計画を出すことで一任を取り付けました。今日は、それに先立ち、せっかくの機会ですので、皆さんにも可能な限りご披露・ご説明をし、ご意見をいただければと思っています。

- 資料に沿って簡単にご説明しますと、「多摩川夢の桜街道プラン」が東北復興に役立つのではないかという問題認識のもと、「東北・夢の桜街道プラン」構想をまとめました。日本人にとって、桜は最も好感度が高い花と言えますし、特に東北地方においては、桜の名所が多数存在しています。ニュース映像を見ておりましても、「この厳しい冬を乗り越えた桜の開花を見て、生命が躍動する春を感じた。たとえ災害時であっても、桜は開花し、自分たちの心が癒された」というインタビューが紹介され、桜が人の心を癒す力を持っていることを改めて感じました。
- 「多摩川夢の桜街道プラン」の基本コンセプトは、「願い事を携えてたずねる桜の札所巡り」です。このコンセプトを「東北・夢の桜街道プラン」にも適用しようと考えています。現在の東北は、災害のみならず、風評被害もあり、観光産業は大きなダメージを受けています。私どもとしては、「多くの犠牲者の鎮魂と、被災地の復興に祈りを捧げて巡る東北・夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所巡り」という観光ツアー商品を開発できればと思っています。しかし、私どもの頭で考えても、実際にこれを商品化するためには、鉄道会社、バス会社、旅行会社等、専門の方のご協力なしには取り運びできません。幸い、JRさん、はとバスさん、JTBさんに賛同していただきましたので、これから関係者でワークショップを立ち上げ、進めていきたいと思っています。これは、来年春のみの単年度の話ではなく、継続的にやっていきたいと思っています。
- では具体的にどう進めていくのかと申しますと、商品については専門の方にお任せするとして、これはたまたまですが、山形に「美しい山形・最上川フォーラム」という地域づくりの団体がございます。これは、私ども多摩川フォーラムの兄貴分に相当し、すでに「最上川夢の桜街道プラン」を推進しています。東北の桜に深い想いのある団体で、会員数は5,000会員にのぼり、国も県も、全市町村も入っている大きな地域づくり組織です。5月の連休中に、この企画について最上川フォーラムに打診をしたところ、「ぜひ一緒にやりたい」ということでした。実は昨年10月に、大田区で開催された「おおた商い観光展」で、当フォーラムと最上川フォーラムがコラボで「夢の桜街道」の写真展示を行うとともに、当フォーラムのダニエル・カール副会長にご講演をいただき、第1回目の交流事業が成功しました。今回、第2回目を企画していた矢先だったこともあり、この企画案はスムーズに流れて行きました。
- つい先日の6月10日に、「東日本復興支援会議」が山形県庁で開催され、山形県知事以下が出席されたそうですが、そこでこの企画案の骨子をご説明したところ、非常に好感を持っていただけたとのこと。特に副知事からは、「この案が民間から出てきたのは非常に喜ばしい。これが1回だけでなく、継続的にやってもらえれば、復興の過程が目に見えて分かり、東北が忘れ去られないようになる。そういう意味でもこのプランは良い」とのご感想をいただいたとのこと。

- ・ 私どもとしては、この支援事業が全国に広がれば良いと思っており、また、当フォーラムの事務局が青梅信用金庫にありますので、出来れば全国の信用金庫にお声をかけ、連携の輪が広がれば良いなと思っております。この件については、7月28日に予定している臨時運営委員会の前までに調整をしていきたいと思っております。
- ・ 肝心の八十八ヵ所ですが、資料にありますように、青森県12先、秋田県12先、岩手県14先、山形県17先、宮城県10先、福島県23先で、合計88先がノミネートされました。中には、札所に指定したくても、放射能の問題等で足を踏み込むことができない場所もあり、やむを得ず、現段階では除いています。いずれにしても、これをタタキ台にし、八十八ヵ所を選定していきたいと思っております。
- ・ 本日は、JRさん、はとバスさん、JT Bさんにご出席いただいておりますので、検討も踏まえてご意見を賜りたいと存じます。

(JT B 営業2課 志村様)

先日、事務局からこのお話を伺い、弊社としてもぜひ、東北の復興を含め、賛同したい、ご協力したいとお話をさせていただきました。私のほうからも、事務局側にくつつかご提案をさせていただいております。今後、課題や懸念事項をクリアしながら、ぜひ来年4月の実施に向けて積極的に頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

(JR東日本 販売促進課副課長 小関様)

こちらのプランは非常に面白いプランでございます。私どもJRとしましては、東日本の地域に根ざした会社として、特に自治体とかなり密接な関係を持っています。商品に関しては仙台支社でやっていますが、それ以外にも、1回で終わらないように、これから続けられるように、自治体を巻き込んで大きな形にできればと思います。色々な形で、こちらからも提案させていただいたり、商品にしたりということも考えていきたいと思っております。

(はとバス 企画課長 江沢様)

事務局による冒頭のビデオにもありましたとおり、今年の4月16日に、多摩川フォーラムさんの企画に参画させていただき、非常に人気のツアーになりました。募集してから約3日で満席になり、多摩川フォーラムさんのネーミングや企画内容が非常に良かったのではないかと考えています。

「東北・夢の桜街道プラン」につきまして、例年、私どもも東北地区の桜バスツアーをやっておりますが、新たにフォーラムさんと連携することによって、展開が大きく図れるのではないかと考えておりますので、ぜひ参画をさせていただき、商品化したいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

(事務局)

有り難うございました。これ自体は、「多摩川フォーラム」とは言っても多摩川に全エネルギーを集中する訳ではないので、皆様のご理解、ご協力も必要だと思います。総会で一任は取り付けておりますが、今日はせつかくの地域経済活性化部会ですので、皆様のお声もお伺いしながら、進めていきたいと思っておりますので、ぜひご意見・ご質問をお願いいたします。

(細野会長)

いかがでしょうか。先ほど、「継続することはとても大事だ」とありました。日本人特有の、熱しやすく冷めやすいところがあるので、同感です。東北地方は、3・11がなくても地域経済活性化の点で停滞の色を深めていました。3・11のせいでのスピードが加速したかもしれません。そういった意味では、我々から東北に出掛けていくことが、地域経済の活性化、あるいは地元の方の自信を取り戻すために、とても大事なことだと思います。皆さまも何かご意見がありましたらどうぞ。

(藤井様)

交通網の整備のことで、以前からお話をしていますが、桜の花見ですと、色々な交通手段を利用しなければなりません。例えばJR、あるいは私鉄、多摩モノレール、バス等。私なりにあたってみたところ、散策ルートはすでにありました。例えば西武では、池袋⇄拝島、拝島⇄奥多摩あるいは五日市、JRでは乗り降り自由、京王の場合は、ストレートに高尾山に向かってしまいます。多摩地区の場合、東西の移動ルートはありますが、南北はありません。以前からお話しているとおり、多摩地区で観光となりますと、色々な交通手段を自由に使えることが必要になると思いますので、JRさんや京王さん、西武さん、小田急さんが参加しやすいと思います。傘下にバス会社もあると思いますので。費用を安く設定すれば、かなり利用価値があると思います。一年中利用できるにすれば、花見にも沢山の人が集まると思います。交通網の整備をすれば、多摩地区は発展していくと思いますので、よろしく願いいたします。

(大田観光協会 事務局長 栗原様)

被災地復興支援は、皆がやりたいと思っても、何をやって良いのか分からない中で、この「東北・夢の桜街道プラン」は本当に素晴らしいと思います。各地域どこでもそうだと思いますが、桜の季節はウォーク・イベントやお祭りが商店街などで開催されますが、来年の春はどうしたら良いか、継続的に何をしていけば良いのか、みんな悩んでいるのです。そこにこういった、東北地方までまとめたプランを作っただけしたのは、素晴らしいことだと思っています。賛同したいと思いますし、微々た

る力かもしれませんが、ぜひ参加させていただき、ご協力していきたいと思っています。具体的には、私どもの3月の桜のイベントに、東北の観光をPRする打ってつけの企画だと思います。これからフォーラム事務局とお話して、連携できることを考えたいと思います。本当に素晴らしい企画だと思います。

(村岡様)

東北復興の件に関しては、全国を巻き込むことが大事だと思います。当然、美しい多摩川フォーラムが後方支援し、「全国を巻き込むこういう素晴らしい活動があるんだ」ということを全国に知っていただき、それが東北の復興につながれば、素晴らしいことだと思います。

ところで、東北復興の件とは関係なく、私がいま考えていることですが、ISOという国際基準があり、環境では14000、品質では9000等がありますが、去年の11月に、ISO26000が発行されました。これはガイドラインで、認証事項は全くありません。昔はCSRという言葉が企業の社会貢献を表していましたが、美しい多摩川フォーラムがクオリティを上げていく意味では、とても良いガイドラインであると感じているので、ワークショップ等を立ち上げ、少しずつでも進めていければと思います。具体的には、皆さんの意見を集約し、「美しい多摩川フォーラムのISO26000に対する取り組み」というガイドラインを作ってしまう良いのではないかと思います。美しい多摩川フォーラムという任意の団体が、ISO26000という世界基準のガイドラインを作成し、それに沿って事業を行うことで、周りの企業は、「あの団体に参加していれば社会貢献できる。企業としても付加価値が上がる」と認識し、法人会員数も増えていくと思います。それに伴い、個人もステイタスを感じ、会員になってくれるのではないかと思います。詳細はこれから事務局にお話しますので、次の部会や運営委員会での検討課題にさせていただければと思います。

(事務局)

お手元に、「普遍的な地域づくりモデルを目指した美しい多摩川フォーラム」という資料があると思いますが、これは、日本計画行政学会という由緒ある公共政策の学会から、美しい多摩川フォーラムについて何か書いてくれないかのご依頼があり、執筆した原稿です。実際は8月に発刊されるので、若干フライングしておりますが、本日もご出席された方の中には、途中からフォーラムの会員になられた方もいらっしゃると思いますので、この資料を見ていただきますと、4ページではありますが、フォーラムのことをある程度分かっていただけたと思います。その最後のページに、「今後の展望」が書かれており、東北復興支援についても触れておりますので、後でお読みいただければと思います。この件について、会長から一言お願いいたします。

(細野会長)

日本計画行政学会は古い学会で、もう少しで40年になります。社会科学や政策系の学会としては、恐らく最古、老舗の学会だと思います。日本の高度経済成長のプランを作った有澤廣巳（あいさわひろみ）さんや、大来佐武郎（おおきたさぶろう）さん、加藤寛（かとうかん）さんが会長を歴任されています。いまの会長は、大西隆（おおにしたかし）と言いまして、ちょうど東日本大震災復興構想会議の委員になっています。地方の計画で、全国的に著名な動きをしているものに対してご紹介の記事を書いていただいておりますが、今回は美しい多摩川フォーラムが選定されました。これは以前に計画賞を受賞した縁でもありますが、またいっそう注目されるのではないかと思います。記事にはすでに東北復興支援のことも書かれておりますが、これが火付け役になるのではないかと思います。

②「多摩川夢の桜街道」計画の見直し（計画の浸透策を含む）

(事務局)

事務局から2点ご報告させていただきます。1点目は、過年度より要望の多かった「多摩川夢の桜街道～桜の札所マップ」の製作について、大多摩観光連盟事務局次長の北田様に進捗状況をお話いただく予定でしたが、急遽ご欠席ですので、お電話にて進捗を確認したところ、現在、東京観光財団に補助金の100万円を申請中とのことで、うまく行けば7月末にはOKが出るとのことです。

お手元の【資料2】「平成23年度事業計画・同予算」をご覧ください。活動費のところに、「夢の桜街道・桜の札所マップ100万円、大多摩観光連盟と連携」と記載されています。この100万円は、フォーラムのプロパー資金です。このほかに、大多摩観光連盟が申請している100万円の助成金があり、総額200万円が桜の札所マップの予算となります。来年の春にはなんとか、桜の札所マップで札所を巡っていただきたいと考えています。

(細野会長)

上手くいけば、100万円が200万円になるかもしれないということですね。申請が下りる確率は高いのでしょうか？

(事務局)

はい。確率はかなり高いと聞いております。コンパクトに折りたたんでポケットに入るようなマップを考えており、具体的には今後検討を進めていきたいと考えています。

(細野会長)

有り難うございました。この件でご意見、ご質問はございますか？ないようでしたら次の案件をお願いいたします。

(事務局)

はい。二点目は、ボサノヴァ・チャリティー・コンサートの見直しについてです。ボサノヴァ・チャリティー・コンサートは、3月26日(土)に、羽村市ゆとろぎにて、ボサノヴァ界ではトップ・ミュージシャンである小野リサさんがコンサートを行う予定でしたが、地震の影響で、ゆとろぎが3月末まで閉館となりましたので、コンサートも中止を余儀なくされました。そもそもボサノヴァ・チャリティー・コンサートの“チャリティー”とは、桜の植樹のための寄付を主に考えていたのですが、いま“チャリティー”と言うと、“東日本大震災復興支援”というイメージに繋がってしまいますので、これを継続していくことは事実上無理であると考え、先方ともご相談の上、この件は白紙に戻すことにしました。一方で、内外から「東日本大震災復興支援対応」の話も出てきたので、ボサノヴァ・チャリティー・コンサート関係の予算は、主として「東北・夢の桜街道プラン」に充当することを事務局では考えています。東北案件以外の事業については、現在、過年度に要望の強かったものを中心に考えておりますが、具体的には臨時運営委員会で議論したいと考えております。結論といたしまして、ボサノヴァ・チャリティー・コンサートは、残念ながら、今回の地震を契機に無くなったということです。しかし、大掛かりなチャリティー・コンサートではなく、通常のコンサートにつきましては、折があれば開催したいと思っています。

(細野会長)

この件でご意見、ご質問はありますか？ないようでしたら、事業計画・予算の修正については、7月開催の臨時運営委員会に一任ということによろしいでしょうか。(拍手)。有り難うございました。

次に進めます。事務局の方から説明してください。

(2)「多摩川の歌」の普及について

(事務局)

昨年度末の本年3月には、計画どおり、「多摩川の歌」CDが完成し、プレス発表を行う予定でしたが、震災の影響で、発表を先送りし、5月の総会で会員の皆様にご報告させていただきました。今後、多摩川流域の小・中学校に配布し、「多摩川の歌」が合唱コンクールのテーマ曲に採用され、広く普及していくことを目指して、現在事務局では、多摩川小・中学校のリストアップを進めております。また、DVDにつき

ましても、フォーラム会員でもある多摩ケーブルテレビ様と連携して、年内に制作するため、準備を始めたところです。

(細野会長)

「多摩川の歌」は、聴けば聴くほど、すごい歌だなと思うがゆえに、PRが足りなくてもったいない気がします。これからDVDも制作することですが、もっとメディアに情報を流すとか、インターネットを利用するなど、PRの面でも進めていただきたいと思います。会員の皆さんにはすでにCDをお配りしているのですか？

(事務局)

DVDが出来あがったところで、CDもしくはDVDいずれかお好きなほう1枚を選択していただく予定ですが、一部の会員にはすでにお配りしております。

(細野会長)

DVD制作に財源を再配分してもよろしいのではないですか？

(事務局)

事務局でも検討しており、臨時運営委員会で提案をさせていただきたいと思います。

(細野会長)

分かりました。事務局には、配布作業を進めていただきたいと思います。次に進めます。

(3) その他

①「多摩川カヌー川下り」の開催について【資料15】

(事務局)

【資料15】をご覧ください。当フォーラム・アドバイザーで大田観光協会事務局長の栗原様よりご提案がありますので、ご説明をお願いします。

(栗原様)

10月1日(土)に、青梅市のカヌー協会と大田区のカヌー協会の共催で、「多摩川カヌー川下り」イベントを計画しております。2年後の10月に、スポーツ東京2013(東京国体)が多摩地区を中心に開催される予定で、カヌー会場として、青梅市と大田区が選ばれました。カヌー競技は2種類あり、青梅市で開催されるのはスラロームとワイルド・ウォーター競技で、大田区で開催されるのはスプリント(500m)競技です。この2会場に共通するフィールド「多摩川」にて「カヌー川下り」を

実施し、東京国体および競技のPRおよび青梅市・大田区の交流を図りたいと思っています。

企画当初は、上流の青梅市から下流の大田区まで一気に下ろうとご提案しましたが、それは先の夢にして、まずは東京都が4年前から開催している「多摩川ウォーキングフェスタ」（今年は10月1日（土）に開催、羽村→大田区ガス橋までの50キロをウォーキング）の開催日に合わせ、羽村から大田区ガス橋までの50キロをカヌーでツーリングすることとし、青梅市カヌー協会と大田区カヌー協会がカヌーのベテラン者に声をかけ、トライアル的に実施しようと企画しています。青梅から大田区までは65キロあり、その間に堰が5つあるので、堰のところだけは、カヌーを担いで下る必要があるかなとは思いますが、将来的には、「青梅マラソン」の次に「青梅カヌーマラソン」が有名になればと、夢を持っています。

まだまだラフな企画ではありますが、美しい多摩川フォーラムには後援をお願いしたいと思っています。

（細野会長）

有り難うございました。東京都のスポーツ振興局に、ぜひ大声でおっしゃってください。

（栗原様）

すでに話しており、「多摩川ウォーキングフェスタとからませてやってほしい」と言われております。

（細野会長）

美しい多摩川フォーラムとしても、全面的にバックアップしていきましょう。他の地域でも企画がありましたらご紹介ください。では次に進めます。

②「多摩川レガッタ」拡充に向けた情報提供について【資料16】

（事務局）

【資料16】をご覧ください。大田区の「多摩川でボートを楽しむ会」顧問の福田様にご説明をお願いします。

（福田）

「多摩川でボートを楽しむ会」の課題として、艇庫について話をいたします。東京都ボート協会では、競技ボート普及のため、水元公園、旧中川、多摩川の3カ所を選定し、ボート教室の開催を始めました。自然環境に恵まれた多摩川では、動力船の運航も制限され、手漕ぎボートには好都合なガス橋近辺を選定し、戸田からナックルフォアボートを搬送し、平成13年に、ボート教室を2回ほど開催したところ、大変好

評だったため、翌14年にキャノンの体育館脇の駐車場にボートを置いてもらえることになったため、4月～10月の潮目の良い土日に月1回～2回ボート教室を開催し、11月初には、ボート教室の成果発表の場として、「多摩川レガッタ」を開催しています。対象は小学校3年生以上で、地域住民の健康増進ならびに健全な青少年の育成を目指して運営をしております。しかし平成18年、キャノンの駐車場に保育施設建設の計画が浮上し、艇庫を撤収せざるを得ませんでした。幸い、応急策として、日本精工の旧多摩川工場機械置き場に期限付きで保管してもらえることになり、ボート教室を継続することができましたが、残念ながらこの艇庫も、新しい施設を建設する計画が浮上し、本年度一杯で撤退せざるを得ない状況になり、ボート置き場について奔走している状態です。恒久的なボート施設の構築については、「多摩川でボートを楽しむ会」設立当初からの最重要課題でした。当団体が、当フォーラム入会時にもこの問題を議題に上げ、議論していただきました。羽田空港跡地利用のパブリック・オピニオンが募集された際にも、恒久的なボート施設の構築を提言しましたが、まだはっきりとした回答は得られていません。幸い大田区は、当フォーラムの行政会員でもあるため、この問題についてはもちろんのこと、来年度以降の応急策についても、当フォーラムと大田区のご理解とご支援をいただきたいと思っています。

(細野会長)

私は秋に大田区で講演をする予定ですが、その時に「美しい多摩川フォーラムでこんな話が出たのですが、いかがでしょうか？」と話してみます。

(藤井様)

補足説明をします。【資料16】の2ページ目以降をご覧ください。新聞見出しに「羽田一浦安に定期航路」、「羽田空港に船着き場」とあります。これは、東日本大震災を契機に、海上交通が見直され、4月に急浮上した話題です。先生きが楽しみな話題です。

5. 部会長総括・閉会（部会長）

(細野会長)

第1回目の部会でしたが、様々な活動が着実になされていると思います。これもひとえに皆様方のご協力があったことだと思います。会員数も、1,000から1,500、あるいは最上川フォーラムのようにいずれは5,000会員になるかもしれませんが、それを目指して我々も頑張っていきたいと思っています。本日は有り難うございました。

以 上